

私保連しませ No.57

Contents

- あゆみ保育園【全国大会の報告】 2、3、4、5
- フレッシュ先生紹介 6、7
- エルダー制度取り組み園から 8、9
- 専門部からお知らせ 10

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



広瀬の伝統工芸“藍染”に挑戦！



安来市広瀬町が誇る伝統工芸「広瀬紺」を今に伝える資料館、「広瀬紺センター」。

毎年、年長さんになると出かけて藍染体験をします。

出来上がりを想像しながら思い思いに輪ゴムで縛った真っ白なハンカチを藍で染めあげ、世界に一つしかない自分の「藍染ハンカチ」ができあがります。

認定こども園ひろせ保育園



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>



「未就園の子どもとその保護者への支援」 ～子育て支援センターでの親子との出会いから～

島根県 認定こども園あゆみ保育園 保育士 山本 絵利

1. はじめに

当園は世界遺産石見銀山がある大田市の中央に位置し自然豊かな環境の下保育を行っている。市内にある3か所の子育て支援センターの中では一番大きく、市内の中心にあることから利用者も多い。とはいえコロナ禍では様々な制限があり利用数は日々平均5組程度、年間約900組の利用にとどまった。また、市内の出生数の減少に併せて利用者も減少している。コロナウィルス感染症が感染症法の5類に移行してからは感染後の制限や他市他県からの利用の制限もなくなり利用数も増加してきた。おおよそ1年間の育児休暇取得後に職場復帰される保護者がほとんどで、利用者の子どもの年齢も低くなっている。父親の育児休暇取得も見られるようになり、両親での来所、父親と子どもの利用もある。

2. 園の概要

開 園 昭和47年12月1日 平成30年4月認定こども園に移行
定 員 145名
開所時間 7時～19時半

3. テーマ設定の背景

支援センターでの活動を通じて、横のつながりの希薄さや孤独感の中で子育てをしている保護者が多いことを実感する。コロナ禍でより強く感じたが普段でも同じような気持ちで過ごしている保護者は多いのではないかと想像される。支援センターとしての役割は何か、これからできることは何かを考えていきたい。

保育園と同じ敷地内にある支援センターであり、園児の様子を見ることがや交流することもできる環境の中でできるサポートもあるのではないかと実践してきた。

4. 実践していること

- ・離乳食、幼児食の試食会
- ・なかよし会 七夕会・運動会ごっこなど季節のイベントや園児との交流等手作りおやつを提供
- ・製作遊び(手形アートや季節を感じられる部屋飾り、手作りおもちゃ等)
- ・保育園児の姿を見学(食事、衣服の着脱、遊び等)動画で紹介
- ・保育園児との交流(園庭等で一緒に遊ぶ、なかよし会での交流等)



- ・親子ヨガ教室
- ・読み聞かせ会(市立図書館より読書コーディネーター)
- ・散歩
- ・相談(話し相手になる、雑談の中から困りごとに気づいていく)
- ・利用者同士の交流の場 保護者同士をつなげていく
- ・支援センターだより発行(予定表など)
- ・情報提供 他の支援センター等のサポートの紹介
本園の一時預かり事業の紹介 等

離乳食・幼児食の試食会(お父さんの参加も)



散歩



なかよし会(運動会ごっこ)



(縁日ごっこ)

読み聞かせ



ヨガ教室



製作遊び



- ・関係機関との連携
 - ・支援会議(月1回) 支援センター職員、市担当職員、保健師情報交換
 - ・保健師、助産師の付き添いで来所
 - ・支援センターの紹介
(支援センターだよりを市のホームページや子育てアプリに掲載)
家庭訪問時、健診時、転居時

5. 事例紹介

【事例1】

県外出身の母親。もしもの時の預け先がないことに不安を感じていた。未就園の親子は頼る場所が少なく、転勤等で見知らぬ土地で生活している人は特に不安が大きい。本園の一時預かり事業があることを知り、登録することで安心された。

【事例2】

母親と10か月男児（利用当初）両親とも県外出身者。周りに知り合いもおらず、コロナ禍でもあり家で孤独と不安を抱えて過ごしていた。支援センターに初めて来られた日、職員と話しているうち涙されるほどであった。その後しばらく利用がなく心配だったので、連絡を入れてなかよし会に誘ってみた。とても楽しかったと笑顔も見られ、それをきっかけに利用も多くなりイベントなどにも積極的に参加されるようになり母親の表情も変わっていった。

6. アンケート

支援センター利用の保護者対象に利用状況や要望についてアンケートをとる

Q1. 利用頻度は？ ・週2回～3回がほとんど

Q2. 興味のある活動は？

・なかよし会、ヨガ教室、試食会、製作遊び、園児との交流、身体測定等

Q3. どのような時に支援センターを利用しますか？

・外や広い場所で遊びたい時

・予定のない時

・人と話したい時、自分の気持ちが落ち込む時、自分のリフレッシュ

・子ども同士のふれあい

・親子の日課になっている

Q4. 今後支援センターに求めることは？

・悩み相談コーナー

・親同士の意見交換会

・なかよし会の回数を増やしてほしい

・今のままで十分、満足している

Q5. その他の意見等

・子どもが自由に遊ぶことができとても嬉しい

・親子で楽しい時間を過ごすことができている

・同じ年齢や異年齢の交流など、色々な経験ができ刺激にもなっている

・このような場があると子どもだけでなく親同士の交流の場となっていて良い

・知り合いがいなかったなので、色々な人と話ができ助かっている

・親子共にフォローしてもらえて利用することで助かっている



7. まとめ・今後の課題

子育て支援センターは、保育園と同じ敷地内にあるため、本園の事業である一時預かり保育の利用にも繋げやすい。子どもも場所に慣れているので、スムーズに生活できた例もある。事例1のように未就園の親子の居場所、頼る場所になるように様々な面からのサポートができるように園内の連携もとっていききたい。

事例2では、こちらからアプローチしたことで良い方向に向かったが、利用者の様子が気になってもどこまで踏み込見込むべきか悩む。また、他との交流がなく家で孤独や不安を感じて過ごしている親子も少なくないと思う。月1回の支援会議で情報交換をし、市の親子教室などへの参加で声をかけるがそれだけでは不十分であると感じている。継続的な支援のためには行政との連携が必要だと感じる。

支援センター利用の保護者は、保育園の保護者とは違いじっくりと信頼関係を築くことはできないので、初めての時に少しでも相手を知りどれだけ話せるかが重要だと感じている。それにはエネルギーも技術も必要であり、担当者もスキルアップしなければならないと感じる。緊張している人、話すのが苦手な人、人と関わるのが苦手だけれど子どものためと勇気を出して来てくれたと伝わってくる人もいる。不安がいっぱいで助けを求めに来ている人もいるかもしれない。保護者の様々な気持ちを大切に寄り添い、また来てもらえるようにして継続的な支援ができればと思う。また、孤独や悩みを抱えているのは、保育園に通う保護者も同じではないだろうか考える。社会との繋がりはあるが、日々の忙しさに孤独を感じているのではないかと思う。保育園の保護者にも送迎時などにリラックスしてもらい、悩みや不安などの気持ちを聞いてもらえる安心できる場でありたいと思う。

利用者に向けてのアンケートでは概ね満足してもらえていることが分かり嬉しく思った。昨年ころから育休中だという父親の利用も見られるようになったが、今の支援センターは母親の利用がほとんどなので、父親も参加しやすい活動を取り入れるなど、誰もが参加しやすい支援センターにしていきたい。母親、父親、祖父母、イベントに参加したい人、イベントは苦手な人、友だちを求める人、あまり人に会いたくはないけれど子どもは遊ばせてやりたい人、そっとしておいてほしい人、話をたくさん聞いてほしい人、など色々な保護者がいることを実感している。たくさんの人がそれぞれのスタイルで利用できる子育て支援センターになるにはどうしたら良いか、誰もが子育てを楽しめる環境とは何かをこれからも考えていきたい。



フレッシュ先生の紹介

第1ブロック

安来市/みゆきこども園

宮本 彩花 先生

保育士のアドバイスを基に、子ども達が園で楽しく過ごせるにはどうすればよいかと、様々な工夫をとり入れ、保育を実践する努力家です。

子どものころからの夢だった保育士としての第一歩を踏み出した宮本先生。

決して平たんな道のりではないと思いますが、悩んだ時にはいつでも私たちがついていきます。

チーム「みゆきこども園」として、共に考え、乗り越えていきましょう。そして、これからも一緒に保育を楽しんでいきましょう。

(園長 和田 旬子)

今年4月にみゆきこども園に仲間入りをしたフレッシュ先生、宮本彩花先生を紹介します。

宮本先生は2歳児クラス担任として、パワフルな子ども達の保育にあたっています。いつも笑顔で、やさしく、子ども一人ひとりに丁寧にかかわってくれる宮本先生のことが子ども達は大好きです。

子ども達が日頃何気なくつぶやいている言葉が面白く、癒されるという宮本先生。クラスの先輩

小学生の頃からの夢であった保育士になることができ、いつも子どもの元気な姿や笑顔に癒されています。私も子どもに負けない笑顔と元気で頑張っていきます。



第2ブロック

出雲市/たいしゃ保育園

伊藤 萌香 先生
北井ももこ 先生

今年の4月から新卒で働いている元気いっぱいな北井先生。「どんなときでも笑顔で過ごす」を心がけている先生は、その意志がしっかりと伝わってくるほど毎日笑顔で明るく子どもたちと関わっています。「ヤダヤダ」の気持ちと「甘えたい」気持ちが入り混じる2歳児(23人)の子どもたちです。一人ひとりとしっかり向き合い、心に寄り添ってくれる先生が子どもたちは大好きです。これからも、その素敵なスマイルと一緒に保育を楽しみましょう!

(2歳児チーフ担任 松下 陽香)

今年の4月から、たいしゃ保育園に伊藤萌香先生が仲間入りをしてくださいました。笑顔で優しい萌香先生は、1歳児(23人)の担任4名の内の1名です。子どもたちの目線に合わせ優しい語りかけに、毎日安心して過ごしている子どもたちです。7月には、初めて担当月を任され、日々活動内容を考える一生懸命な姿を見せてくれています。いつも笑顔を忘れず、元気いっぱい子どもたちと生活や遊びを楽しむ萌香先生を応援しています。

(1歳児チーフ担任 杉谷 朋美)

笑顔を忘れず、子どもの気持ちに寄り添った保育ができるように頑張っています。

1歳児の担任をしており、子どもたちの笑顔に元気をもらう毎日です。これからも、子どもたちと共に成長していきたいと思います。





第3ブロック

江津市／さくらこども園

花田 薫 先生

「花田先生」よりも「薫ちゃん」と呼びたくなる…実はさくらこども園の卒園児で、明るく活発で笑顔のカワイイところは昔と変わっていません。保育の中では、子ども達の遊ぶ様子を見ながら“こんなのがあったら子どもの遊びが広がるかも”とレジやドリンクバーを作ってみたり、分からないことがあれば“教えてもらいたい”と伝えてくれたりと、初めての仕事で緊張しながらも意思表示をしっかりとってくれることに私

達も安心しますし、子ども達もすぐに楽しい先生だと分かったようです♪

先日、市外の高校生が園見学に来られ花田先生に見学対応と園説明をお願いしたことがありました。高校生に自分の園の何を伝えるのか、どんな言葉を使えば伝わるのか…頭を悩ませながらも3点に絞って要約し一生懸命に話しており、自分だけが話すのではなく高校生にも話を振ってみるなど場を上手に盛り上げていたと聞きました。終わってから「緊張しました〜!」の笑顔とともに「高校生に伝わったかどうかは分からないけど、自分のやっていることを振り返ることができていい機会をもらいました」と、とても心強い感想を聞かせてくれた花田先生です。いろんなことにチャレンジしながら自分の強みや得意なことを見つけて、それを生かしながら保育を楽しんでほしいと思います。

(園長 福富由希子)

子ども達と一緒に身体を動かして楽しみたいです♪



第4ブロック

浜田市／ひかり保育所

川本 優奈 先生

浜田ひかり保育所のフレッシュ保育士、川本優奈先生。川本先生の口グセは「ちょっと聞いてくださいよ!」顔を合わせれば一言、二言目には必ずこの言葉が出てきます。そしてこの後が続くのは、子どもたちの可愛かったこと、面白かったこと、びっくりしたエピソードなどです。私の知らない子どもの一面を、ニコニコ笑いながら話す先生を見ていると、実際は見えていないけれど、その場面での子どもたちの姿、表情がはっきりと目に浮かんできます。そんな彼女が一年目の時、戸外に出かける際、いつも部屋を最後に出る女の子がいま

した。ゆっくりペースの子なのだろうと、私はあまり気に留めていなかったのですが、ある日、川本先生が「聞いてください! ○○ちゃん可愛いんですよ。いつも部屋を出るのが最後じゃないですか、それって全員をドアの近くに立って、手を振ってお見送りしているからなんですよ。」と教えてくれました。何気ない日常のちょっとした場面でもよく見て、子どもの心に寄り添って保育をしているなと感じました。

同時に嬉しそうに語る彼女の姿を真似しないといけないなと自分の保育を振り返ったことを覚えています。『川本先生と、今よりもっともっと仲良くなりたいから明日から川本ちゃんって呼んでみようかな?』と家でつぶやいた女の子もいて、次の日お母さんが嬉しそうに教えてくれました。

親しみやすい温かな雰囲気。大人、子ども、分け隔てなく誰にでも優しく寄り添う川本先生の姿をいつまでも大切にしてほしいです。そして今いる子どもたち、これから出会うたくさんの子どもの些細だけど胸が温くなる姿、川本先生にしか気づけない姿をたくさん見つけて欲しいな、と思います。

(リーダー保育士 北村 百花)

子どもってかわいい! と入職してからずっと思っています。悩むことも正直ありますが、先輩方に相談して日々解決しています。これからも、子どもの姿をしっかり見つめ頑張ります!



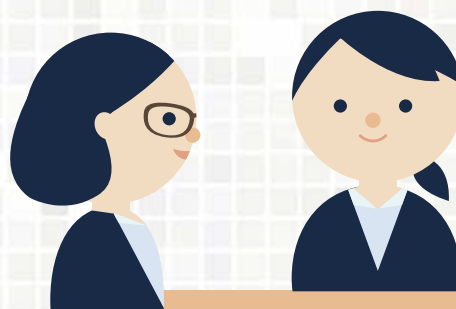
エルダー制度 取り組み園から

エルダーとは？

身近で気軽な相談役

新入職員はこれまでとは異なる環境の中で戸惑うことが多く、ストレスを感じやすい状態です。慣れないうちは誰に何を聞いていいかわからないことも。

エルダーは新入職員にとって、`いつでも、`なんでも、`気軽に、相談できるそんな先輩職員です。



今号では実際に『エルダー制度』を導入している保育施設に聞いてみました。

荒茅保育園

エルダー制度導入 7年目を迎えて

新人職員にとって、学生から社会人への第一歩を踏み出す最初の一年間は全てが初めてのことばかりです。年が近い先輩エルダー職員が精神的に寄り添い支えることで、新人職員がより安心して職場や業務に慣れていくことができ、楽しく子どもたちと向きあえるように、自園ではエルダー制度を導入しています。

エルダーの面談は毎月一回程度、定期的に行っています。面談をする日をホワイトボードに書き込んでおき、朝礼で申し合わせをすることでクラスから抜けやすいように配慮しています。その時間を確保できるよう保育園全体で協力し、みんなで新人職員を育てるという意識を持ち職場定着に向けたサポートに取り組んでいます。

新人職員にとってエルダーの存在は特別で、安心できる職場環境づくりに繋がっていると感じています。誰にでも明るく振舞っており、疑問に思ったことを自分からすぐに尋ねることもできているので、今後の成長を期待しています。一方、先輩エルダー職員は、普段の保育中にもさりげなく新人職員をサポートしている姿がみられとても成長を感じています。新人を気遣う事だけでなく周囲に目を向ける事について視野が広がっていることを感じています。

今後もこの制度がより良い形で継続するように引き続き取り組んでいきたいです。

主任保育士 藤江めぐみ



社会福祉法人西野福社会 伊波野保育園

エルダー制度導入について

伊波野保育園において、新人職員の離職防止のために始めた「保育の職場エルダー制度」は、導入してから6年目になります。制度を継続することで、エルダーと新人職員のみならず、他の職員同士も一層コミュニケーションを図ることができ、制度の効果を実感しています。

制度導入前は自らのことで精一杯だった職員が、導入後は新人職員を気遣うようになり、また、新人職員も保育業務に慣れていくスピードが早くなるといった具合に、各々の成長に繋がっています。

エルダー制度を、該当職員だけでなく園全体で取り組むこととし、「難しい。」とか「手間がかかる。」と捉えるのではなく、「互いが気軽に話せて安心できる職場作り」となるよう、これからも続けていこうと思います。

それでは、伊波野保育園のエルダー保育士を紹介します。

“エルダー保育士 後藤未佑希 保育士”

月一回の面談や日々の保育の中で新人職員とたくさん話をするよう心掛けています。面談では好きなものや趣味の話など仕事以外の話もたくさんするようにし、日々の保育の中でリラックスできる時間になるようにしています。保育中にも新人職員の様子を見ながら、必要があれば声をかけています。今までは自分のことに精一杯なことも多かったですが、エルダー職員になったことで気を付けて様子を見ようという意識が生まれたように感じます。新人職員が楽しく、仕事を続けていけるようサポートしていきたいと思っています。



専門部からのお知らせ

調査部

今年度は6月に、『各園（所）における有料職業紹介事業者による職員採用の現況調査』を実施しました。調査の際には会員園の皆様方におかれましては、ご理解ご協力の程ありがとうございました。

〰回答率96.3%、の調査結果につきましては、ホームページで開示中です。

現況を皆様方と共有し、今後の島根県への要望事項の参考にしていきたいと考えております。

研修部

『調理担当者の研修会』

日時：10月17日（木）

場所：ホシザキ中国（松江市）

『危機管理研修会』

日時：11月12日（火）

場所：パルメイト出雲

講師：上八丁堀法律事務所

- ・社会福祉法人会計研修については、日時や場所、研修方法など検討中です。決まり次第お知らせ致します。



編集後記

年々暑さが増していき、「危険な暑さ」という日が何日も続いています。この先、子どもたちが大人になった頃には、地球はどうなっているのだろうか？と不安になるこの異常気象。地球のために出来ることを、子どもたちと一緒に考え、小さいことからでも意識をもってやっていかなくてはと改めて思う夏でした。

そんな、身体にこたえる暑さが続く中、執筆等にご協力いただきありがとうございました。

この「私保連しまね57号」が届くころには、さわやかな風がふいていることを期待しています。

のぞみ保育園 坂本 博美（副部長）



株式会社 ファミリーネクスト

害虫駆除の決定版！
ニュークリーンホープ

お問合せ (株)ファミリーネクスト

☎ 093-245-1252

E-mail: info@family-sanitary.com

<http://family-sanitary.com/>本 社 / 〒809-0034 福岡県中間市中間 3 丁目 26-13
電話 093-245-1252 FAX093-245-5941長崎事務所 / 〒854-0076 長崎県諫早市堂崎町 13 番 7 号
電話・FAX 0957-47-6360熊本事務所 / 〒861-4143 熊本市南区富合町上杉 223-13
電話・FAX 096-339-7277広島代理店 / 〒730-0051 広島市中区大手町 3-6-3-401
電話 082-258-3127 FAX082-258-3128静岡代理店 / 〒438-0078 静岡県磐田市市泉 309-11
電話 090-1094-0990安心安全なオゾンの力で、
除菌・消臭。

DEOZONE

低濃度オゾン発生機 (デ・オゾン)

日本テクノは電気エネルギーに関するトータルソリューションを提供します。
電気をつくる。電気をまもる。電気を賢くつかう。日本全国 24 時間、電気のそばに私たちはいます。電気にエネルギーをそそぐ。

つくる

発電・小売電気事業

調達改善

まもる

保安管理・点検業務

保安改善

賢くつかう

電力コンサルティング

運用改善

緊急応動
体制の
確立電気設備
24時間
監視

日本テクノ株式会社

<http://www.n-techno.co.jp>

お問い合わせ

中国支店 島根営業所

〒690-0007 島根県松江市御手船場町 553-6 松江駅前エストビル 3 階

最寄りの営業所へご用の方 >>>

0120-308-512

受付 9:30-17:00
【時間】(土・日・祝日・年末年始を除く)

[全私保連推奨] 各種団体保険制度



有限会社ゼンポ

公益社団法人
全国私立保育連盟

東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間(中途加入可能)

Web
加入
可能「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険)」
「職員団体傷害保険(総合生活保険)」など、保育施設における最大
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間(中途加入可能)

Web
加入
可能社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新(中途加入可能)

Web
加入
可能「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新(中途加入可能)

Web
加入
可能24時間のおケガ等からお守りすることに加え、学校からの貸出タブレットを
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL: 03-3865-3881
FAX: 03-3865-2806引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社: 公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の
概要・団体総合生活保険(傷害保険)の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず
「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定/東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨(総代理店)



きっずノート

「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・追加料金一切なし

すべての機能使い放題/
月額 5,500円(税込)のみ

無料体験実施中!

お申し込みは
コチラ

ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育連盟)

私保連しまねNo.57

発行日/令和6年(2024)●月
発行者/会長 川上 雅文発行所/島根県私立保育連盟
編集者/重田 総代・坂本 博美